

## 改善計画書(兼改善状況報告書)

優先順位	改善項目No.		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(19年3月1日現在)
	自己	外部				
1	20	15	個別具体的な介護計画	以前からセンター方式を取り入れるべく検討してきたが、この機会にまず、各ユニット1人を取り上げ、センター方式に慣れ、全員にセンター方式を取り入れる。	平成19年1月より	各ユニットでのミーティングにおいて、センター方式への取り組みに向けた全スタッフの意欲を新たにしている。
	30	24	利用者一人ひとりの過去の経験を活かしたケア			
	33	26	利用者の自己決定や希望の表出の支援			
2	48	83	服薬の支援	服薬を確認する人を決め、確認者(スタッフ)が記録・署名する。	平成19年1月より	スタッフが責任を持って確認し、記録する事により、後からのチェックが確実で容易となった。
3	49	85	緊急時の手当て	消防署の応急手当研修を受講する	平成19年3月24日実施	同法人医療機関の介護スタッフと合同研修を行う予定
4	64	40	金銭管理の支援	短大の学生ボランティアや家族の協力を得て、外出・買い物等をする	随時	運営推進会議メンバーである短大教授に相談したところ、学生ボランティアの派遣・協力について快諾していただいた。また、具体的内容についてもアドバイスをいただいたので、内容について今後引き続き検討する。
	33	26	利用者の自己決定や希望の表出の支援			
	90	51	ホームに閉じこもらない生活支援			
5	45	32	個別の栄養摂取状況の把握	期間を定め、実際の食事の写真を記録し、摂取した食事の栄養価を算出し、栄養バランスの評価等を得る	平成19年2月より	食事を写真で記録する事により、食事づくりに対する緊張感と、スタッフの食事管理に対する意識の变革が期待できる。
6	101	35	成年後見制度等の活用推進	研修会を開催し、勉強する	随時	同法人医療機関の介護スタッフと合同研修を行う予定
7	106	58	ストレス解消策の実施	同法人医療機関の介護スタッフとの交流グループホーム連絡協議会のスタッフ研修に参加	随時	介護スタッフ同士の交流を密にし、悩みやストレス解消を図ることが期待できる。
	104	57	継続的な研修の受講	研修会の情報をこまめに提供し、研修会への参加を促す	随時	積極的な参加希望の声が増えるようになってきた。